

各国の運動が廃絶への力

原水爆禁止世界大会が4日から6日広島で、9日長崎で開催されました。大会は核兵器禁止条約成立をふまえ、核の威嚇や核抑止を批判し、条約に参加し核廃絶を目指す市民社会と諸国政府の連携・強化を呼びかけました。

今年の世界大会は、若い世代や女性の参加が多く、のべ約4000人の会場参加と4300ヶ所のオンライン参加で行なわれたことが紹介されました。大会はロシアによるウクライナ侵略と核兵器の威嚇と言

う大きな逆流の一方で、核兵器禁止条約の第1回締約国会議が開かれ、核廃絶の前進の中で開催されました。核兵器の使用や威嚇を許さないとの発言が相次ぎました。

大会参加のNPT軍縮委員会議長をつとめるマレーシアの国連大使は「核の使用や威嚇は絶対に受け入れられない」と発言。ウクライナの平和運動家は「核兵器の横暴に屈してはならない」と発言しました。

同時期に国連で開催されているNPT再検討会議のNGOセッションで日本原水協がトップで紹介され、笠井衆院議員（党国会議員）が日本で開催されている世界大会について報告し大きな注目を集めたことや各国代表に働きかけ、大きな変化を感じているとの報告がありました。大会の広島宣言は「禁止条約を力に市民社会と諸国政府との共同を発展させるならば『核兵器のない世界』への展望を切り開くことは可能と述べています。

日本は核禁条約に参加を

戦争イヤだ。9条守ろう!!

市民ウォークで核廃絶を訴え

8月6日、市民ウォーク実行委員会主催（橋本雅文代表）の市民ウォークが日田市内中心部で行なわれました。猛暑の中、行進しながら「戦争反対、9条を生かした平和外交を」と訴えました。



9条を守る日田の会を中心とする市民ウォーク実行委員会は、6日8時半のパトリヤ日田前広場に20人が集まり、広島原爆投下時間に黙とうをしたのち、市内中心部を約1時間行進しました。

ロシアのウクライナ侵略に抗議するとともに、日本での軍事拡大の声に対して「国民は軍事大国化を望んではいない。9

「広島・長崎を繰り返すな」と宣伝



原水爆禁止日田地区協議会は、県内の平和行進と連携して、日田・玖珠の自治体首長や議長に要請し署名やペナント等の協力をお願いしました。4日の世界大会の参加や9日の長崎集会には、オンラインで合わせて16名が参加し学習しました。また9日の長崎原爆投下の日に平和行進として宣伝カーで市内をめぐり「核兵器の廃絶」を訴えました。



条があつたから平和であつた。憲法9条に自衛隊を書き込めば戦争をしない9条の意義と効果が消えてしまう」また「被爆国日本が核兵器禁止条約に参加するように働きかけましょう」など録音した内容をスピーカーで流し訴えました。新型コロナウイルスで流し訴えましたが、商店にいた中学生や高校生などから手を振って激励をいただきました。

好評発売中
560円

ウクライナ侵略と

日本共産党の安全保障論

—志位和夫・著—

検査拡充 早期治療へ転換を

新型コロナウイルスの感染者が急増しています（左のグラフのとおり）。専門家は「無料検査を抜本的に拡充し、早期の治療へつなげる戦略へと転換すべきだ」と提案しています。

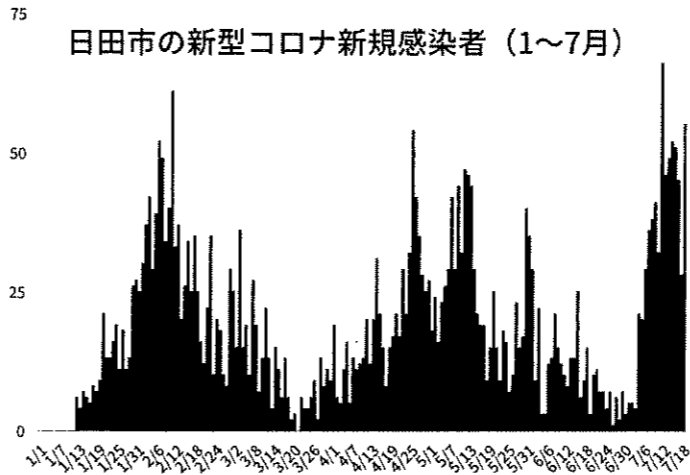
福祉保健部長は「日田市の感染者は、先週1週間で337人。その前の週が153人で、2倍を超えて突然増えた」「県は、感染力が強い系統（BA.5）にかなり置きかわり、感染対策の徹底を呼びかけている」と話します。

部長は「県内の重症者はゼロ。市内の入院・宿泊療養者は、確保しているコロナ専門病床とホテル療養室の6割程度。それ以外は自宅療養と県保健所から報告を受けている」と、日本共産党市議団に説明しました。

部長は今後の対策について「これまでの感染予防対策の徹底とワクチン接種を市民に呼びかける。若い人専用のワクチン接種日として今月30日、31日を設けた。すでに39歳以下で3回目のワクチン接種をしていない方に、ハガキで案内をしている」と説明しました。

昭和大教授の仁木芳人氏は「重症者病床が埋まらなければ大丈夫と甘く見ていけば、あつという間に満床になってしまう。感染者を増やさないため何が効果的なのか。政府は対策を打ち出すべきだ」と指摘します。

新型コロナ第7波 感染力強い系統に置きかわり



日田市の新型コロナウイルス新規感染者（1～7月）

党市議団が「ある介護施設では新型コロナウイルス検査キットを市内の薬局でまとめて買っている。県の検査キットの配布が、間に合っていないのか」と質問。部長は「必要

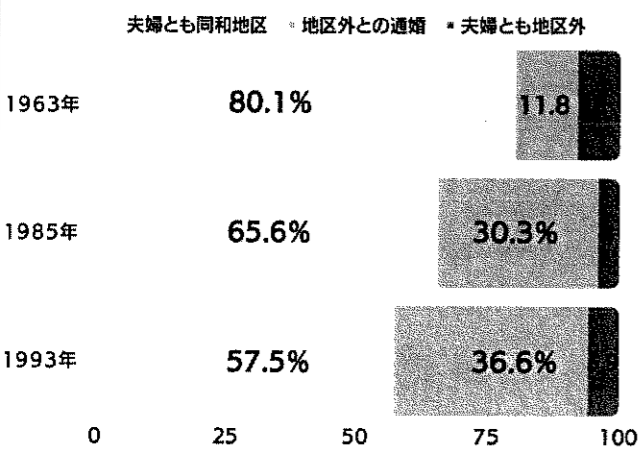
部落をこえた結婚が増えている

日隈市議は6月議会、人権に関する市民意識調査で新たな差別を生むことがないよう要求。市民環境部長は「部落差別が掘り起こされてしまうことがないよう留意した」と答えました。

昨年6月に市が行った市民意識調査で、結婚差別が現在もなお問題となっていると思われている市民が多い結果が出ています。しかし、総務庁が全国調査で同和地区の結婚状況を調べた数字では、部落をこえた結婚が増え、部落ということにこだわらない状況が進んでいます（上のグラフのとおり）。

日隈市議は「もはや同和地区あるいは被差別部落というよう呼び方をすることは、現実から大きくかけ離れている」と指摘。市民意識調査の問いに「誰かが被差別部落出身者に対する差別的な発言をした時：」などがあることを追及しました。

人権に関する市民意識調査 結婚差別が現在もあるのか



夫婦とも同和地区 地区外との通婚 夫婦とも地区外

無料検査所一覧

検査所名	住所	検査種類	受検方法・対応時間
あやめ薬局	日田市大字三和659番地3 (0973-28-5547)	抗原定性	ドライブスルー方式 要事前予約 月・火・金 15時～16時30分
みやま薬局	玖珠町大字塚脇171-1 (電話0973-72-3885)	抗原定性	ドライブスルー方式 要事前予約 月～金 15時～16時
伊東薬局 日ノ出町店	日田市大字渡里22-1 (電話0973-23-5910)	抗原定性	受付時間(事前の電話をお願いします) 月～金 8時30分～13時、14時～16時30分 土 8時30分～13時、14時～16時30分
朝倉薬局 天神店	日田市三和73-5 (電話0973-24-6660)	抗原定性	受付時間(事前の電話をお願いします) 月、火、水、金曜日 9時～12時、14時～16時 (電話受付15時まで) 木曜日 9時～12時(電話受付11時まで) 土、日、祝日 検査なし(電話受付も無し)
喜久屋薬局 田島店	日田市田島2丁目4-6 (電話0973-27-6031)	抗原定性	受付時間(事前の電話をお願いします) 火・水・金 15時～17時
楼蘭薬局	日田市銭淵町31-2 (電話0973-22-1100)	抗原定性	受付時間(事前の電話をお願いします) 月～土 9時30分～11時30分、14時～17時30分
あふれる薬局	日田市大字竹田395-4 (電話0973-28-5733)	抗原定性	原則予約制 月～金 15時～17時